

## レファレンス事例

質問 三島由紀夫関係資料について(外国から)

回答 < >内は当館の請求記号

あらかじめお断りいたしますが、この回答では、お問い合わせの(1)三島由紀夫の自殺、(2)ポール・シュレーダー (Paul Schrader) 監督の映画「MISHIMA」、の2件について、日本語の雑誌や新聞に掲載された記事を検索するのにご参考になろうかと思われる当館所蔵の書誌・索引類をご紹介しますにとどめますので、その旨ご了承下さい。

### (1)三島由紀夫の自殺について

三島由紀夫の自殺について日本で発表された雑誌論文や新聞記事は、きわめて多数にのぼり、これらを合理的・網羅的に検索する手段は、残念ながら、いまのところありません。ただ、次のような資料をご参考になろうかと思われまので、④雑誌論文について、⑤新聞記事について、二つに分けてご紹介します。

#### ④雑誌論文について

比較的まとまった索引、目録には次の2点があります。

★  
●大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録 人名編

第6巻：「三島由紀夫」pp.88-99  
<UP54-36>

大宅壮一文庫が所蔵する約6500種24万冊の雑誌のうち、明治から1984年4月までのおよそ2000種に掲載された人物記事の索引です。

★  
●福島鑄郎 資料三島由紀夫 双柿舎  
1982 <KG574-154>

「三島由紀夫関係文献目録」 pp.216-249 に、三島由紀夫自決[1970.11.25]後～第1回公判[1971.3.23]に至るまでの間に刊行された週・月刊誌に掲載された論文・記事を中心に採録されています。

また、主として三島の文学上の業績を扱った次のような資料に、雑誌論文を含めた文献目録や参考文献の解説がみられ、三島の死についての文献も散見します。

●文芸読本三島由紀夫 河出書房新社  
1983 <KG574-173>

「主要参考文献の展望」 pp.288～295に参考文献の解説がみられます。

●三好行雄編 三島由紀夫必携 (別冊国文学 no.19 1983 所収、<Z13-1971>)

「三島由紀夫主要参考文献目録」 pp.212～218に雑誌論文や雑誌の特集号を含めた参考文献があがっています。

なお、三島由紀夫の死については、今日でも論じられており、こうした最近の文献の検索には、

●森睦彦編 年刊人物文献目録 1980～  
日外アソシエーツ <GK1-4>

があります。

#### ⑤新聞記事について

日本国内の新聞記事についての総合的な索引はありません。主要各紙の個別の索引として、例えば、次のようなものがあります。

★  
●朝日新聞記事総覧 人名索引 (戦後編 IV) 日本図書センター 1988 <Z99-5>

1968(昭和43)年1月1日～1971(昭和46)年12月31日の朝日新聞縮刷版(東京)に掲載された記事の人名索引。

●ニュース・イヤーブック 朝日新聞の索引と抄録 朝日新聞社 <UP58-3>

朝日新聞の1年間の記事について、事項索引、人名索引から検索できます。1973年版、1974年版、1975年版を所蔵。

●毎日ニュース事典 毎日新聞社 <UP58-1>

毎日新聞の1年分の記事の事項索引と抄録。1973年版～1980年版を所蔵。

●読売ニュース総覧 読売新聞社 1979～ <UP58-7, 1987年版以降 Z61-11>

1979(昭和54)年から刊行された読売新聞の1年間の総合索引。一般索引(事項)、人名索引があります。1979年版から1987年版を所蔵。

これらの索引がカバーしていない時期については、1カ月単位の縮刷版の目次等を利用して、個別に検索する方法になります。

上掲の資料のうち、★印の資料につい

ては、該当箇所の写しを添付しましたのでご利用ください。(注:本誌では省略)

(2)ポール・シュレーダー監督 映画「MISHIMA」について

前掲の『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』の「三島由紀夫」の末尾には、この映画に関連する記事が採録されています。また、この映画の制作過程については、次のまとまった参考図書があります。

●垣井道弘 MISHIMA 飛鳥新社 1986 <KD652-162>

関連する雑誌・新聞記事等についての文献目録は付されておきませんが、この資料から、この映画の制作発表年月日[1983.6.16.]や、第38回カンヌ映画祭[1985.5.8-5.20]に出品されたことなどがわかります。

なお、新聞記事の検索方法については、前項(1)-⑧をご参照ください。

すでにご存知のことと思われませんが、ご参考までに付記いたしますと、1988年3月現在、この映画は日本国内ではまだ一般公開されていません。